

# 地域防災拠点開設支援キットについて



**栄区総務課防災担当**

# 地域防災拠点開設支援キットとは？



避難所開設時における役割や流れを記載した、手順書・必要物品が入ったボックスです。

これに従って行動することで、避難所開設・運営のノウハウがない方でもスムーズな避難所開設と運営が可能になります。

- 立ち上げ初期に使うもの
- マニュアルを簡単に実働的にしたもの
- 避難者や経験の少ない委員の方にわかりやすい内容

# 地域防災拠点開設支援キット中身

## 1 手順書

### 【導入編】

### 【①スタート編】

### 【②施設の安全確認編】

### 【③施設の使用準備編】

### 【④避難者受け入れ編】



## 3 ビニールケース

## 4 トイレパック



## 2 建物点検セット

# 地域防災拠点開設支援キット中身①

## 1 手順書



手順書には、各種掲示用のパネルも入っています。



写真やイラストを使い、経験の少ない方でも読みやすいように作成しています。

# 地域防災拠点開設支援キット中身②

## 2 建物点検セット



ヘッドライト

折り畳みヘルメット

警戒テープ(トラテープ)

養生テープ(赤)

革手袋



単四電池  
(ヘッドライト用)

バインダー(地域防災拠点確認票 1、2)

ボールペン

# 地域防災拠点開設支援キット中身③

## 3 ビニールケース



栄区防災マップ



鉛筆



鉛筆削り



区割り用メジャー

記載例 避難者カード(兼 安否確認票) No. 様式第15号  
学校地域防災拠点

※みなさまの安否情報の問い合わせについて、ご希望の番号にチェックをつけてください。  
問い合わせ先  
□1 下記の情報を公表しないでください。  
□2 下記の情報を公表しても結構です。(インターネットでも検索できます。)  
□3 一部の項目だけ回答しても結構です。  
(回答してよい項目にチェックをつけてください。インターネット検索時、チェックした項目のみ表示されます。)  
□住所(区町名まで) □性別 □年齢 □身体状況 □所在場所

※1枚数で1枚記入(下記の引かれた項目は、必ず記入してください。)

避難した日時	令和4年 9月 1日 10:00	確認者	
退去した日時	年 月 日		
避難生活区域	<input type="checkbox"/> 体育館 <input type="checkbox"/> 教室(階 年 組用) <input type="checkbox"/>		
住 居	〒234-3658 中区 港町 1丁目 1番 1号 *アパートマンション名		
同居家族全員を記入してください。			
フリガナ	性別	年齢	身体状況
主コハマ タロウ	男	69	健康です <input type="checkbox"/> 障害があります <input type="checkbox"/> 不明です
次 友	女	69	健康です <input type="checkbox"/> 障害があります <input type="checkbox"/> 不明です
ココハマ ハナコ	男	31	健康です <input type="checkbox"/> 障害があります <input type="checkbox"/> 不明です
横沢 花子	女	31	健康です <input type="checkbox"/> 障害があります <input type="checkbox"/> 不明です
男			健康です <input type="checkbox"/> 障害があります <input type="checkbox"/> 不明です
女			健康です <input type="checkbox"/> 障害があります <input type="checkbox"/> 不明です
男			健康です <input type="checkbox"/> 障害があります <input type="checkbox"/> 不明です
女			健康です <input type="checkbox"/> 障害があります <input type="checkbox"/> 不明です

備考欄  
・災害の避難場所にいる方は「□その他」にチェックします。  
・避難所は、備考欄に記載します。

※返送時及び携行時等は慎重に取り扱いをお願いします。  
※本等は、災害時のみの利用とし、災害対策本部の廃止後に廃棄します。

避難者カード

# 地域防災拠点開設支援キット中身④

## 4 トイレパック



地域防災拠点が開設する前の非常用として20個入っています。

**ご使用方法**  
〈段ボール・バケツ等でも利用できます〉

① 既存トイレ等に  
排便袋をセット  
します。

② 用を足した後、  
凝固剤をふりかけ  
ると固まります。

③ 排便袋を取り出し、袋の口を結びます。  
可燃ゴミとして、袋ごと処分してください。  
自治体の条例に従ってください。

セット内容  
抗菌性凝固剤  
……………1袋  
排便袋  
……………1袋

紙  
外紙 PE・PP  
日本製

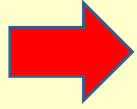
栄区いたち川  
マスコット  
タッチーくん

**横浜市栄区役所**  
〒247-0005 横浜市栄区桂町303-19  
TEL 045-894-8312  
FAX 045-895-2260

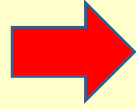
# 地域防災拠点開設支援キットの使い方①



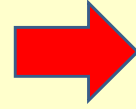
手順書（橙）  
導入シート



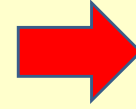
手順書（赤）  
①スタート編



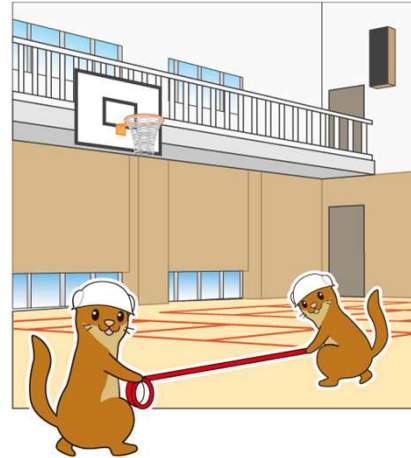
手順書（黄）  
②施設の安全確認編



手順書（緑）  
③施設の使用準備編



手順書（青）  
④避難者受け入れ編



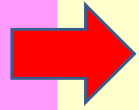
上記の順に手順書を読み進めて行くことで、少人数でも拠点開設のための最低限の準備が行えます。



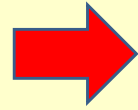
# 地域防災拠点開設支援キットの使い方②



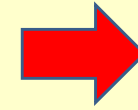
導入シート



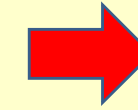
①スタート編



②施設の安全確認編



③施設の使用準備編



④避難者受け入れ編

① (このカードは箱の一番上に保管してください)

**<まず初めにお読みください>**

この箱には、  
地域防災拠点（避難所）を簡単に開くための

**手順書(カード)**  
と  
**建物点検セット**×4  
が入っています。

使い方はとても簡単です！  
誰にでもできる内容なので  
安心して下さい！  
関係者が来るまでの間、  
集まった方で準備を進めましょう！

裏面(②)に進んでください

② (このカードは箱の一番上に保管してください)

**<始める前の確認事項>**

周りで火事🔥は発生していませんか？

**はい** 火事が起きています！  
**いいえ** 火事は発生していません

みんなで  
**広域避難場所へ避難！**

地震時の火事はだんだんと周りに  
燃え広がり、大きな火事になります。  
地域防災拠点（避難所）は  
大きな火事には対応できないため、  
まずは広域避難場所に避難しましょう  
⇒ ことから近い広域避難場所は  
同封の「家区防災マップ」を確認！

手順書(カード)に沿って地域防災拠点（避難所）を開設へ  
火事が発生していない場合は次の用紙(③)に進んでください

③ (このカードは箱の一番上に保管してください)

火事が発生していない場合  
手順書(カード)に沿って進みます

**<手順書について>**  
手順書(カード)は4編に分かれています。

① スタート編…………… 赤  
② 施設の安全確認編…… 黄  
③ 施設使用準備編……… 緑  
④ 避難者受け入れ編…… 青

手順書の順番に進んで行くと地域防災拠点  
（避難所）が開設できます。  
あせらず、落ち着いて、順番に進んでください。

裏面(④)に進んでください

④ (このカードは箱の一番上に保管してください)

**<手順書(カード)の使い方>**

1 2チームに分かれましょう！  
手順書(カード)を読む「読むチーム」と  
手順にそって行動する「行動チーム」に  
分かれましょう 「読むチーム」は2名程度

2 報告・連絡・相談を行いましょう！  
「行動チーム」はやった事や  
発見した事を「読むチーム」に  
必ず伝えてください

3 「読むチーム」は動かない！  
安全な待機場所を決めたら、その場所から動かないで  
ください  
(行動チームが報告・連絡・相談に来る場所が  
はっきりわかるようにしましょう)

4 スピード不要！ ゆっくりでも確実に！  
この後に本震や余震があるかもしれません。  
安全を第一に進めましょう。

**それでは始めましょう！**  
**赤色のファイルを開けてください**

## 手順書【導入シート】について

導入シートには、キット内の主要物品の説明や手順書を読み進めて行く上での簡単なルールについて書かれています。

# 地域防災拠点開設支援キットの使い方③



導入シート



①スタート編



②施設の安全確認編



③施設の使用準備編



④避難者受け入れ編

**1**

## スタート編

まず行ってほしい事は  
**【安全な場所に集まりましょう！】**  
余震や本震の発生に備え、校庭等の安全な場所に集まりましょう。

すでに避難者が来ている場合は誘導し、全員で集合しましょう！  
余裕があれば、後から来る避難者のために、学校の入口に「避難所開設準備中」パネルを張りましょう。  
(パネルはこのファイルに入っています。)




※建物の安全確認ができるまでは、**学校内に入らないようにしましょう！**  
崩れて生き埋めになるかもしれません！

裏面(②)に進んでください


**2**

次に行ってほしい事は  
**【手順書を読む人(リーダー)を決めましょう】**

ボックスを開けた人の中で  
手順書を読む人(リーダー)を決めましょう。  
〔2名以上で行うことがおすすめです。〕



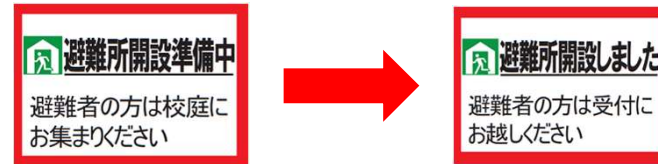
**【仮設本部を仮設しましょう】**  
手順書を読む人(リーダー)が決まったら、校庭等の安全な場所に仮設本部(開設するまでの打合せ場所)となる場所を決め、仮設本部パネルを貼り付けます。  
(パネルはこのケースの最後のページに入っています)  
手順書を読む人(リーダー)は、仮設本部から動かないでください。



**仮設本部**

協力してくれる方が一定数集まったら  
次の用紙(③)に進んでください

①校庭等の安全な場所に集まります。



キット内の養生テープ等を使用し、学校の入り口に避難所解説状況の案内を掲示します。

②リーダーを決めて、仮設本部を設置します。

仮設本部は、リーダーが手順書を読んで指示を出したり、協力者が集まって話し合いをする場所です。  
安全でわかりやすい場所に設置しましょう。

**仮設本部**

※開設をスムーズに行うため、必ずリーダーを決めておきましょう。

1人で不安な場合はリーダーは複数人いても構いません。

リーダーはなるべくその場から動かずに、手順書を読んで、他の人に指示を出しましょう。

# 地域防災拠点開設支援キットの使い方④



導入シート



①スタート編



②施設の安全確認編



③施設の使用準備編



④避難者受け入れ編

3

次に行ってほしい事は  
【協力者を集めましょう！】

避難所の開設には施設の安全確認や荷物の運搬など多くの協力が必要です。なるべく多くの協力者を集めましょう。

＜呼びかける言葉＞

- 「これから集まっている方で、避難所の開設を行います。」
- 「一緒に開設を進めてくれる方が必要です！一緒にやってくれる方はここに集まってください。」
- 「協力して下さる方以外の方は、校庭で待機してください。建物は安全かわかりません。勝手に建物に入らないよう後から来る方にも、声をかけてください。」  
(何度も繰り返しアナウンスしてください。)

協力してくれる方が一定数集まったら裏面(4)に進んでください

4

協力してくれる方が集まったら【2チームに分かれましょう！】  
＜チーム編成＞

<p>「読むチーム」 2名程度</p> <p>※すでに手順書を読む人(リーダー)が決まっている場合は不用です。</p> <p>【「読むチーム」の仕事】</p> <p>① 手順書を読んで、やるべき事を「行動チーム」に伝えてください。</p> <p>② 「行動チーム」が行った事についての報告を受け、報告内容等を記録してください。</p>	<p>「行動チーム」 2名ペアで複数</p> <p>【「行動チーム」の仕事】</p> <p>2名がペアを組み、この後に行う施設の安全確認や使用準備をお願いします。</p>
---	---

それぞれのチームができたら次の用紙(5)に進んでください

③なるべく多くの協力者を集めます。  
集まった協力者と仮設本部に集まりましょう。

④、⑤集まった協力者と役割分担を決めます。

読むチーム⇒行動チームへの指示  
行動チームからの報告の記録

行動チーム⇒施設内の安全確認等

読むチームは2名以上、行動チームは4名以上確保することが望ましいです。

行動チームが使うヘルメット等の装備は4名分キット内に入っています。不足分は防災倉庫から用意しましょう。

5

各チームの注意点確認！

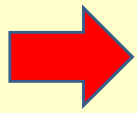
<p>「読むチーム」</p> <p>安全な待機場所(仮設本部)を決めたら、その場所から動かないでください。 ⇒ 行動チームが報告・連絡・相談に来る場所がはっきりわかるようにしましょう。</p>	<p>「行動チーム」</p> <p>必ずペアで行動しましょう！！</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一人になった時に危ない目にあっても気づいてくれる方はいません。</li> <li>あなたの安全を守ってくれるのはペアの方だけです。</li> <li>状況はどんどん変化します。</li> <li>お互いに視界から外れないようにしましょう。</li> </ul>
--	--

注意点が確認できたら黄色のファイルを開けてください

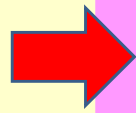
# 地域防災拠点開設支援キットの使い方⑤



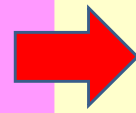
導入シート



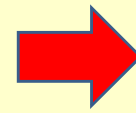
①スタート編



②施設の安全確認編



③施設の使用準備編



④避難者受け入れ編

**施設の安全確認編**

まずは  
【建物点検セットを確認しましょう！】

このボックスには施設の点検を行う際に「行動チーム」の4名(2ペア)の方に使っていただく点検セットが含まれています。

＜建物点検セットの内容物＞

身に着ける物	移動時に持つの
<input type="checkbox"/> 折り畳みヘルメット	<input type="checkbox"/> バインダー
<input type="checkbox"/> ヘッドライト	<input type="checkbox"/> 拠点確認票1・2
<input type="checkbox"/> 皮手袋	<input type="checkbox"/> ペン
	<input type="checkbox"/> 警戒テープ(トラテープ)
	<input type="checkbox"/> 養生テープ(赤)

確認が出来たら、裏面(②)に進んでください

次に  
点検時の注意点を確認！

＜注意すること＞

- ◆点検中にも余震や本震が起きる事を念頭に行動してください。
- 「ヘルメット・皮手袋着用」「ライト携帯」「ペア行動」を必ず守ってください。

◆足元の安全確認だけでなく、上空の安全確認を行ってから建物に近づいてください。

次の用紙(③)に進んでください

建物点検セットを活用して、施設の安全確認を実施します。

- ・ヘルメット、ヘッドライト、皮手袋は安全の為、必ず身に付けましょう。
- ・安全の為、二人一組での行動が原則です。確認票確認項目を確認してください。

次に  
【点検場所と順番を確認！】

＜点検の順番＞

- ①体育館の外部 ⇒ 体育館内部
- ②校舎等の外部 ⇒ 校舎等の建物内部
- ③地域防災拠点敷地内のその他の箇所

グラウンドの防球ネットや擁壁・ブロック塀など、壊れるとケガに繋がる場所は要チェック！

裏面(④)に進んでください

では、まず  
【体育館を確認しましょう！】

必ずペアで行動します！

◆「地域防災拠点確認票1(外観)」と「地域防災拠点確認票2(内部)」を参考に、目視点検を行います。

揺すったり、叩いての確認は注意！！  
扉間であれば教職員と協力して行います。

確認票1 確認票2

次の用紙(⑤)に進んでください

次に  
【校舎等を確認しましょう！】

点検のやり方は体育館とほぼ同じですが、体育館との違いに注意しましょう！

校舎には給湯室などがあります！  
⇒ 出火危険を確認しましょう！

校舎にプロパンガスはあったかな？  
ガス臭くなかったかな？

校舎点検が終わったら  
【敷地内のその他の箇所を確認】

- ・野球の防球ネット
- ・ブロック塀、擁壁 などなど

壊れると影響がある場所を確認！

施設の安全確認が終わったら  
緑色のファイルを開いてください

地域防災拠点確認票1 (外観)

拠点名	検査日時		報告者
	小・中学校	年 月 日 時 分	
校 舎	校舎及び周辺の状況	良好 不良	
	<input type="checkbox"/> 近くで地震が発生していないか？ <input type="checkbox"/> 足場の危険性はないか？ <input type="checkbox"/> ガス臭くないか？ <input type="checkbox"/> 破損、陥凹、陥没、凍結化がないか？ <input type="checkbox"/> 破損等が原因で、危険ではないか？ <input type="checkbox"/> 覆れ下がっている電線がないか？ <input type="checkbox"/> 特記事項		
体 育 館	体育館及び校舎の外観	良好 不良	
	<input type="checkbox"/> 建物が傾斜していないか？ <input type="checkbox"/> 柱及び壁等に亀裂・剝離がないか？ <input type="checkbox"/> 窓ガラスの破損がないか？ <input type="checkbox"/> 出入口の扉が開閉できるか？ <input type="checkbox"/> 電気はつくか？ <input type="checkbox"/> 特記事項		
校 舎	校舎	良好 不良	
	<input type="checkbox"/> 建物が傾斜していないか？ <input type="checkbox"/> 柱及び壁等に亀裂・剝離がないか？ <input type="checkbox"/> 窓ガラスの破損がないか？ <input type="checkbox"/> 出入口の扉が開閉できるか？ <input type="checkbox"/> 電気はつくか？ <input type="checkbox"/> 特記事項		

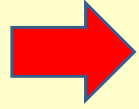
地域防災拠点確認票2 (内部)

拠点名	検査日時		報告者
	小・中学校	年 月 日 時 分	
校 舎	点検箇所	良好 不良	
	<input type="checkbox"/> 日本橋側 <input type="checkbox"/> 日影側 <input type="checkbox"/> ロフト上(事務所) <input type="checkbox"/> ロフト下(事務所) <input type="checkbox"/> 日影口(事務所)		カゴ内は、 積重ねを記入する こと
体 育 館	点検項目	A B C	
	<input type="checkbox"/> 出入口止まり壁を触ったか？ <input type="checkbox"/> ガス臭くないか？ <input type="checkbox"/> 出入口の扉が開閉できるか？ <input type="checkbox"/> 床の陥凹がないか？ <input type="checkbox"/> 柱及び壁等に亀裂・剝離がないか？ <input type="checkbox"/> 天井の亀裂・落下がないか？ <input type="checkbox"/> 窓ガラスの破損はありますか？ <input type="checkbox"/> 電気等の断電、落下がないか？ <input type="checkbox"/> 電気はつくか？ <input type="checkbox"/> 傾斜していないか？ <input type="checkbox"/> 特記事項(緊急時の要領を確認)		

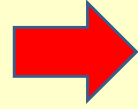
# 地域防災拠点開設支援キットの使い方⑥



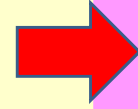
導入シート



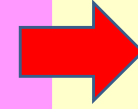
①スタート編



②施設の安全確認編



③施設の使用準備編



④避難者受け入れ編




**施設使用準備編**

安全は確認できたので、次に  
【ライフラインを確認しましょう！】

【ライフラインとは】

- ① トイレ（下水） ← 凄く重要！！
- ② 電気
- ③ 水道
- ④ ガス（プロパン含む）
- ⑤ 通信（電話やWi-Fi、無線電話等）

この中で一番重要なことはトイレの確認！  
水道が使えても下水が壊れていると流す事ができません。  
使えない場合は使えない事を明らかにし、  
トイレを警戒テープで封鎖しましょう！



裏面(②)に進んでください

まずは ①トイレの確認

トイレの封鎖イメージ  
トイレの封鎖はやり過ぎのうちに感じるかもしれませんが、  
これくらいやらないといつの間にか使用されてしまいます！



一度でも使用されたら最後です！  
清掃ができないため衛生環境が急に悪化し、  
せっかく建物で使用できても悪臭で苦しむ事になります！

使われる前に  
トイレパックを  
セットできれば  
ベストです！



（トイレパック20個はこの箱に入れてあります！）

次の用紙(③)に進んでください

トイレの対応後は  
「他のライフラインを確認！」

②電気・③水道の確認  
各フロアで確認します。



④ガス（プロパン含む）の確認  
慎重に確認！  
ガス臭がある場合  
⇒ 周囲を立ち入り禁止に！  
点検セットの中にある  
警戒テープなどを使ってください



⑤通信（電話やWi-Fi、無線電話等）の確認  
各人の携帯電話は電波の入る・入らない場所を確認

学校の固定電話や 無線電話 は  
学校教職員や拠点関係者が到着  
している場合に確認



裏面(④)に進んでください



建物の安全確認が完了したので次に、  
建物の設備等について確認します。

点検箇所は以下の場所です。

- ①トイレ ②電気 ③水道 ④ガス ⑤通信

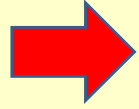
必要に応じて、養生テープやトラ  
テープ、手順書内のパネルを使用し、  
危険等を知らせましょう。

トイレについては、一度使われてしま  
うと、その後の使用に影響が出ますので、使  
用できない場合はキット内のトイレパッ  
クを  
設置しておきましょう。

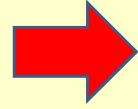
# 地域防災拠点開設支援キットの使い方⑦



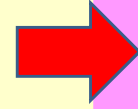
導入シート



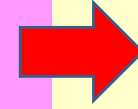
①スタート編



②施設の安全確認編



③施設の使用準備編



④避難者受け入れ編

④

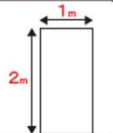
次に  
「避難スペースを決めましょう」  
一人ひとりが使えるスペースを決めておかないと、  
トラブルの原因となります。

避難者が体育館や校舎に入る前に、  
スペースを明示しましょう！

【決まり事】

一人あたりのスペースは **2m×1m !!**

避難者が少なく余裕があっても、  
避難者が増える事や、  
人や物が移動できる通路を  
確保するためスペースは変えません！



※避難スペースの明示には、ボックス内のメジャーや  
養生テープを使用してください



(体育館の  
イメージ)

次の用紙(⑤)に進んでください →

⑤

## 特別な配慮について

避難されて来る方は、みなさんお困りの方ですので  
対等な関係です。

ただし、特別な配慮を必要とされている要援護者の方も  
いらっしゃるので、できる範囲で配慮をお願いします。

【例】

・高齢者やケアが必要な方は  
移動が難しい場合があるので、  
入口付近に専用の場所を



・泣き声などが気になる  
子どもや体調が悪い方が  
専用で使える教室の設置



・性別やライフステージのニーズに対応した  
更衣室(場所)の設定

施設使用準備が終わったら  
青色のファイルを開けてください →

次に体育館への避難者受け入れの前に、  
避難者スペースの明示を行います。

1人あたりのスペースは2m<sup>2</sup>です。

メジャーと養生テープを使用し、スペースの  
四隅に印をつけて下さい。

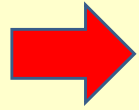
時間や人手に余裕があれば、特別な配慮が  
必要な避難者の為に、防災倉庫の資機材等を  
使用し、以下の準備も行いましょう。

- ・テント等を使用したプライベートスペースの確保
- ・空き教室の使用準備

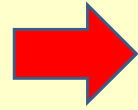
# 地域防災拠点開設支援キットの使い方⑧



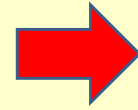
導入シート



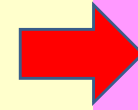
①スタート編



②施設の安全確認編



③施設の使用準備編



④避難者受け入れ編

**避難者受け入れ編**

施設の使用準備ができたので、**【受付を設置しましょう！】** **受付**

受付は一度設置すると場所変えが難しいので  
屋根がある場所だとベストです！

【用意するもの】  
①避難者カード(兼 安否確認票)  
②筆記用具  
③長机(数台)

①②は  
このボックスに  
入っています

【注意ポイント】  
記載場所は混むので、  
机はたくさんあると便利です。  
暗い時は点検で使用した  
ライトなどを活用してください！

裏面(②)に進んでください

次に、校庭等で待機している人を  
【受付へ誘導しましょう！】  
**アナウンスに注意！**  
「施設に入れる」だけのアナウンスは×

× 入れるよー！

聞いた人が無秩序になだれ込み危険な場合があります！

「受付ができました！ 並んで受付してください」と  
アナウンスしましょう

○ 受付ができました！  
並んで受付してください

人数確認も含めて受付をして  
順番に入ってください

次の用紙(③)に進んでください

体育館の入り口付近等に受付を設置し、  
避難者の受付を行います。

体育館等にある長机を使用し、  
机にパネルを掲示しましょう。

**受付**

受付に並んだ方は  
【避難者カードの記入を！】

受付で行う事を列に並んでいる方に呼びかけると  
スムーズに動くことができますので、案内をお願いします。

【受付者への案内事項】  
・「受付をしないと建物には入れません」  
・「避難者カードは世帯ごとに1枚！」

避難者1人1枚  
ではありません

【注意ポイント】  
受付は混乱することが  
予想されますので  
重複して受付付けることが  
ないよう十分注意して  
ください。

裏面(④)に進んでください

カードの記入が終わったら  
「建物内に入りましょう」

【使用スペースの案内】  
＜避難者が少ない場合＞  
1スペースを空けて使いましょう！

⇒ フライバシーの  
保護や感染症の  
抑制などに  
寄与できます。

＜避難者が多い場合＞  
奥から順にスペースが埋まるように！  
⇒ ①人数確認が容易です  
②好き勝手に使う場所を選べると  
後半のスペース案内や移動が難しくなります

【参考ポイント】  
・高齢者やケアが必要な方には、入口付近のスペースを  
使用いただくとトイレ等への移動が楽になります

これで、ひと段落です。あとは避難所(地域防災拠点)の  
ベテラン委員の方や市役所職員の方の到着をお待ちください。

お疲れ様でした

机の上には、筆記用具、避難者カードを  
置き、避難世帯ごとに避難者カードを記  
入してもらいます。

※避難者カードは避難者の安否確認等にも  
繋がる重要な情報です。

また避難所内での混乱を防ぐためにも  
必ず記入してもらいましょう。

# 地域防災拠点開設支援キットの使い方⑨

## 手順書はアレンジ可能！

### スタート編

まず行ってほしい事は

**【安全な場所に集まりましょう！】**

余震や本震の発生に備え、校庭等の安全な場所に集まりましょう。

すでに避難者が来ている場合は誘導し、全員で集合しましょう！

余裕があれば、後から来る避難者のために、学校の入口に「避難所開設準備中」パネルを張りましょう。

(パネルはこのファイルに入っています。)



**※建物の安全確認ができるまでは  
学校内に入らないようにしましょう！**  
崩れて生き埋めになるかもしれません！

裏面(②)に進んでください



次に  
「避難スペースを決めましょう」

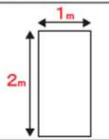
一人ひとりが使えるスペースを決めておかないと、  
トラブルの原因となります。

避難者が体育館や校舎に入る前に、  
スペースを明示しましょう！

【決まり事】

一人あたりのスペースは **2m×1m !!**

避難者が少なく余裕があっても、  
避難者が増える事や、  
人や物が移動できる通路を  
確保するためスペースは変えません！



※避難スペースの明示には、ボックス内のメジャーや  
養生テープを使用してください

(体育館の  
イメージ)



次の用紙(⑤)に進んでください



HPに掲載している手順書のデータを各  
地域防災拠点の実情に応じて、アレンジ  
して使用することも可能です。

